

InterAqua O 2025

2025開催報告書

主催

Jtb Communication Design

01.開催テーマ

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

持続可能な未来を見据え、水ビジネスが果たす役割は今や重要性を増しています。

InterAqualはこの重要性を認識し、持続可能な企業活動を支える水ビジネスの最先端を紹介する展示会として2010年より開催しています。第16回目となる今回は、過去最大の102社・団体/130小間の規模の開催となりました。水処理・計測・分析技術を軸にした出展者のブース展示をメインに、有識者や専門家による様々なセミナーや講演、先進的取組み事例の紹介や研究開発の成果発表を通じ、活発な交流や商談が行われました。

今回の開催を機に、社会や環境の変化に適応し持続可能な発展を遂げるために、企業活動における水ビジネスの重要性を主催者として再認識しています。同時開催のENEX地球環境とエネルギーの調和展をはじめ、エネルギーイノベーション総合展を構成するInterAqualは、直面する様々な水問題に向き合い、持続可能な企業活動を推進する環境づくりに貢献してまいります。

【エネルギーイノベーション総合展対象分野】



02.開催結果

会期 2025年1月29日(水)～31日(金)10:00～17:00

会場 東京ビッグサイト東2ホール

出展者数/小間数/参加国数

102 社・団体
2024年比:132%

130 小間
2024年比:118%

5 か国 日本、韓国、台湾、イタリア、インドネシア

来場者数(同時開催展合計)

開催日	天候	来場者数
1/29(水)	晴れ	12,396 名
1/30(木)	晴れ	14,241 名
1/31(金)	晴れ	15,452 名

3 日間合計 42,089名

最終参加者数 ※オンライン参加含む 52,470名

同時開催展

省エネ・再エネ・省資源・海洋資源の利活用に関する展示会エネルギーイノベーション総合展をはじめ、素材から加工、センシングまでを包含するマテリアル総合展など、全14展示会を同時開催いたしました。



03.エネルギーイノベーション総合展としての開催

今回もENEXをはじめとした4展示会を含め**エネルギーイノベーション総合展**の枠組みの中で開催。
相互来場、活発な商談が行われました。

構成展示会



ENEX2025 第49回地球環境とエネルギーの調和展 (Energy and Environment Exhibition)

主催:一般財団法人省エネルギーセンター



DER/Microgrid Japan2025 (Distributed Energy Resources / Microgrid Japan)

主催:株式会社JTBコミュニケーションデザイン



第19回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム (RENEWABLE ENERGY 2025)

主催:再生可能エネルギー協議会

共催:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構/国立研究開発法人産業技術総合研究所
国立研究開発法人科学技術振興機構/一般財団法人新エネルギー財団

特別協力:公益財団法人高橋産業経済研究財団/産経新聞社



Offshore Tech Japan2025 第6回海洋産業技術展

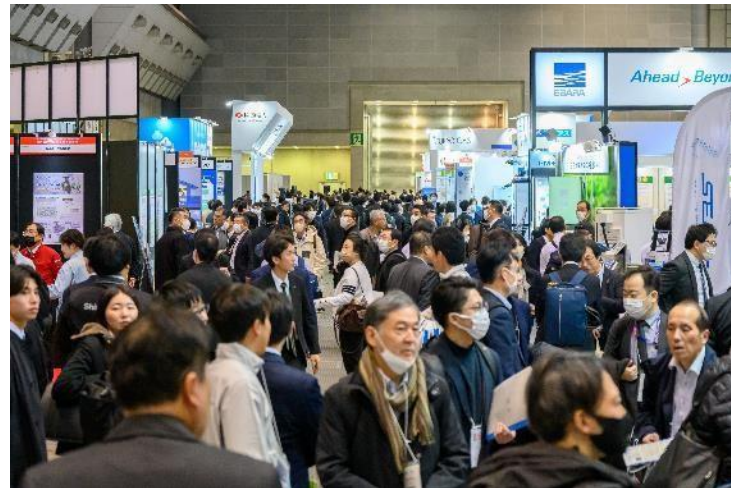
主催:株式会社JTBコミュニケーションデザイン/産経新聞社

04.後援団体

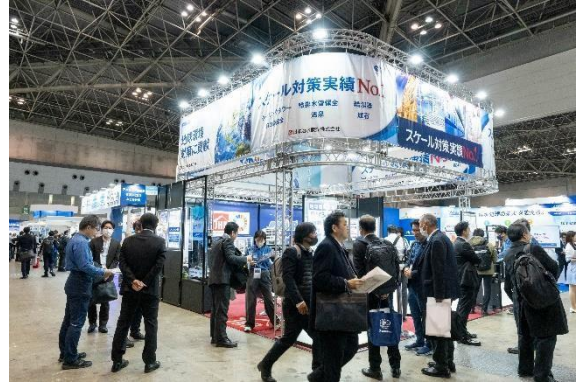
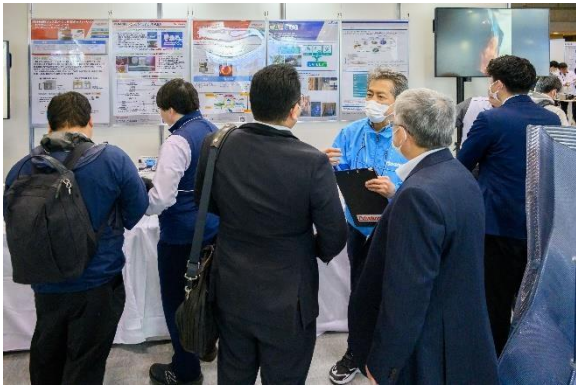
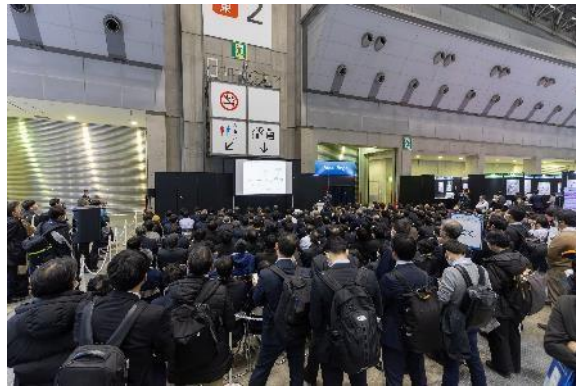
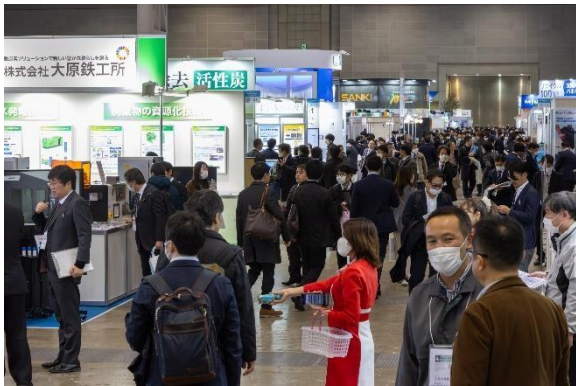
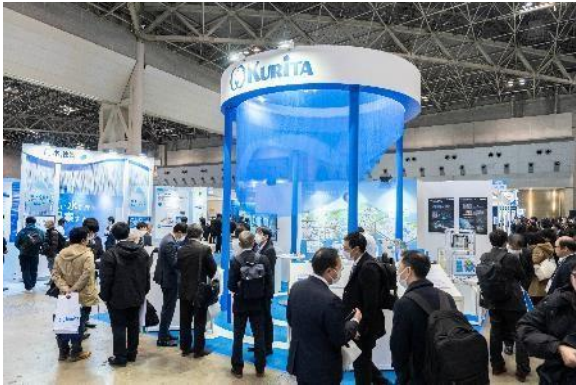
25年展は、水・環境・エネルギー関連を中心に**20団体**に後援をいただきました。

■後援

安全工学会/公益社団法人雨水貯留浸透技術協会/関西・アジア環境・省エネビジネス交流推進フォーラム(TeamE-Kansai)/
下水道グローバルセンター(GCUS)/一般社団法人産業環境管理協会/一般財団法人新エネルギー財団/公益社団法人新化学技術推進協会/
公益財団法人水道技術研究センター/公益社団法人全国上下水道コンサルタント協会/公益社団法人全国ビルメンテナンス協会/
一般社団法人電子情報技術産業協会/日本液体清澄化技術工業会/一般社団法人日本エネルギー学会/日本化学繊維協会/
一般社団法人日本機械工業連合会/公益社団法人日本下水道協会/公益社団法人日本材料学会/一般社団法人日本産業機械工業会/
一般社団法人日本鉄鋼協会/膜分離技術振興協会(五十音順)



05.展示会ハイライト



06. レイアウト



07.出展者一覧

あ	アイ・アールシステム	さ	グルンドフォスポンプ	た	大同メタル工業	海外	三井金属エンジニアリング	
	安積濾紙		Cranebio		タキエンジニアリング		室町ケミカル	
	イーシーフロンティア		クレハ		T.K.K.エボリューション		メトロームジャパン	
	伊藤忠ケミカルフロンティア		グローバルインフォメーション		テクノモリオカ		や・ら	安原環境テクノロジー
	稲畑産業		ケネック		東京MTI		ヤマダコーポレーション	
	片岡バイオ研究所		研電社		東光計器		ラヴオックス	
	小松マテーレ		ゴータ水处理技研		東芝ライテック		流機エンジニアリング	
	ウェーブロジー		小西安		東洋アクアテック		海外	Emec
	ウォーターポイント		サントリーホールディングス		テクノエンジニアリング		Handok Cleantech	
	ウシオ電機		GVSジャパン		東洋アルミエコープロダクツ		Indo Water 2025 Expo & Forum	
	宇部マテリアルズ		ジェイテックウォーター		東横化学		ST. PIONEER	
	NX Filtration		しが水環境ビジネス推進フォーラム		な		長瀬産業	WACO Corp
	MDI		岡本電気		ナガセテクノエンジニアリング		中西商事	
	エンバイロ・ビジョン		テクアノーツ		日本触媒		日本環境科学研究所	
	eau&company		WEF技術開発		日本治水販売		は	ハンナインスツルメンツ・ジャパン
	OHR流体工学研究所		プロジェクトナイト				ビーエルテック(Go-Tech事業成果展示)	
	大原鉄工所		龍谷大学				PFAS対策技術コンソーシアム	
オブテックス	ジャステック		ピュロライト					
オメガニクス	ジョンソンスクリーンズジャパン		日吉					
オルガノ	信州大学		Filtrex					
か	笠原理化工業	新明和工業	Filtrex Japan					
	カルテック	西進商事	富士フィルム和光純薬					
	環境新聞社	積水アクアシステム	フタムラ化学					
	SPM(京都大学大学院薬学研究科)	Zenken	ま	マイクロテック				
	協和機電工業	総合水研究所	マシンノル					
	熊本県立大学	ルミライト・ジャパン	マツボー					
	大巧技研	ソニーグループ	三重県環境保全事業団					
	タイム技研	ソルエース						
	クリアライズ	かがわ産業支援財団						
	栗田工業	ソルバンタム						

08.併催セミナー:Aqua Week

3日間で全10プログラム、25講演を実施。のべ3,118名が聴講。

「人口減少時代における地域課題への挑戦」や「革新的海水淡水化技術」「PFAS」「環境保護、水資源の有効活用」「水質・リスク管理のDX活用事例」など、社会課題の解決に重要なテーマを設け開催いたしました。

1月29日 (水)	
人口減少時代を生きる ー地域課題に水の観点から挑戦	
10:30-11:15	水は地域の社会課題 村上 道夫 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授 博士 (工学) 小早川 竜也 氏 ウォーターポイント 経営企画室 桑原 清子 氏 日本水フォーラム チーフ・マネージャー 武田 教秀 氏 日本水道新聞社 日本水道新聞編集長
11:15-12:00	水は水だけではない 村上 道夫 氏 大阪大学感染症総合教育研究拠点 教授 博士 (工学) 大野 芳範 氏 肥後の水とみどりの愛護基金 専務理事 西澤 政彦 氏 NJS 管理本部事業戦略室長 執行役員 武田 教秀 氏 日本水道新聞社 日本水道新聞編集長
革新的海水淡水化への挑戦 ー液体金属技術と小型分散型装置が拓く水資源の未来ー	
13:00-13:45	液体金属流体を用いた海水淡水化と 有価資源の回収プロセスに関する研究 近藤 正聡 氏 東京科学大学 総合研究院 ゼロカーボンエネルギー研究所 准教授
13:45-14:30	小型分散型海水淡水化装置の市場性 柳瀬 善史 氏 Waqua 代表取締役 社長
センシング技術・DXで築く持続可能な 水質・リスク管理	
14:45-15:30	とってやさしい水質DX・とってすすんだ水質DX 小寺 寿宣 氏 オプテックス NSS事業部 S&M部 S&M課 International sales lead
15:30-16:15	宇宙ビッグデータ×AIで変革する水道インフラ管理 ー衛星データがもたらすDXの最前線ー 百束 泰俊 氏 天地人 取締役副社長-CSTO

1月30日 (木)	
浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略	
10:30-11:15	PFAS水処理技術の問題点ー単位の問題 山下 信義 氏 PFAS対策技術コンソーシアム 会長
11:15-12:00	環境省・各務原実証試験結果報告ーLFP法によるPFAS水浄化ー 山内 仁 氏 流機エンジニアリング アジア・アフリカ環境ソリューション室 室長
ロームが考える環境貢献と水資源の重要性	
12:15-13:00	ロームが考える環境貢献と水資源の重要性 重信 好行 氏 ロームサステナビリティ推進部 環境・安全推進室 室長
未来のくらしと水の科学研究会 公開シンポジウム	
13:30-13:40	開会挨拶・研究会紹介 「未来のくらしと水の科学研究会」 高井 まどか 氏 東京大学 大学院工学系研究科 教授
13:40-14:10	世界の水事情と水ビジネス 吉村 和就 氏 グローバルウォーター・ジャパン 代表
14:10-14:30	層状複水酸化物を用いた水処理システム構築に向けた取り組み 笹井 亮 氏 島根大学 教授
14:30-14:50	高性能逆浸透 (RO) 膜とその産業適用 三井 伸也 氏 東レ 地球環境研究所
14:50-15:00	休憩
15:00-15:30	グローバル拠点展開時の水質対策経緯と気づき・学び 古川 雄一 氏 トヨタ自動車 先進技術開発カンパニー 将来技術・事業創生グループ 主幹 埼玉大学 大学院 理工学研究科 教授
15:30-15:50	スマート植物工場を実現する水耕栽培の自動化貢献技術 寺島 千晶 氏 埼玉理科大学 創域理工学部 教授
15:50-16:10	高砂熱学イノベーションセンターにおける 地下水熱利用システムの運用実績とZWB評価 大迫 孝輔 氏 高砂熱学工業 技術研究所
16:10-16:30	水熱反応によるプラスチックのケミカルリサイクルと水質浄化への挑戦 山崎 友紀 氏 法政大学 経済学部 教授

1月31日 (金)	
サステナブル社会を創る水資源価値と CSV経営の新たな挑戦	
10:30-11:15	サステナビリティを経営の中核に据えた企業の挑戦！ CSVビジネスによる社会課題解決への貢献 望月 瑛祐 氏 栗田工業 産業・社会インフラ本部CE事業開発部門事業開発二部CSV企画課
11:15-12:00	持続可能な社会の実現に貢献する「水の新たな価値」創出への挑戦 中村 妙子 氏 栗田工業 イノベーション技術開発部門先進水処理開発グループ第一チーム
浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略	
12:30-13:15	PFASの水処理におけるリスク管理と挑戦 山村 寛 氏 中央大学 理工学部 人間総合理工学科 教授
工場排水セミナー	
13:25-13:55	食品工場含油排水を対象とした油脂フロス分解システム 佐藤 純世 氏 水ingエンジニアリング 営業本部 エンジニアリング営業統括部 産業インフラ営業部 エキスパート
13:55-14:25	NAGASEの環境ソリューション ー工場での省エネ・GHG削減事例の紹介ー 大場 彰 氏 長瀬産業 スペシャルティケミカル事業部 スペシャルティ第一部 環境ソリューション課
次世代につながる官民の取り組み ー新たな技術開発と余剰汚泥処理の取り組み	
14:30-15:15	上下水道分野における技術開発の取組 長谷川 広樹 氏 国土交通省 大臣官房参事官 (上下水道技術) 付 課長補佐
15:15-16:00	余剰汚泥からの高効率MAP回収システムに関する実証研究について 高尾 大 氏 月島 JFEアクアソリューション 下水事業部 下水計画部 部長

09.主催者企画展示:産業向け水処理ソリューション / PFASパビリオン

産業向け水処理ソリューション

工場・施設における水処理の課題解決へ

InterAquaでは、工場・施設における水処理の課題解決、水資源の回収・再利用、環境リスク対策、省エネ・エネルギーコスト削減に関する技術、製品をご覧いただける「産業向け水処理ソリューション」の企画を実施しました。

出展企業・団体

eau&company / クリアライズ / エンバイロ・ビジョン / 宇部マテリアルズ
安原環境テクノロジー / OHR流体工学研究所 / カルテック / 中西商事
稲畑産業 / 富士フイルム和光純薬 / Handok Cleantech / Emec Srl
流機エンジニアリング / マシンソル / 栗田工業 / クレハ / マツボー
長瀬産業 / 大原鉄工所 / アイ・アール・システム / ST. PIONEER
Filtrex Japan / ラヴォックス / ウェーブロジー / ウォーターポイント
ソルベンタム / 安積濾紙 / 小西安 / 東光計器



PFASパビリオン

水質PFAS対策の最新動向をいち早く把握

水質PFAS対策をめぐる喫緊の課題に対し、分解技術、環境修復技術の実用化に向けて、PFAS対策技術コンソーシアムによるパビリオンを展開。
多くの来場者から関心をいただきました。

出展企業・団体

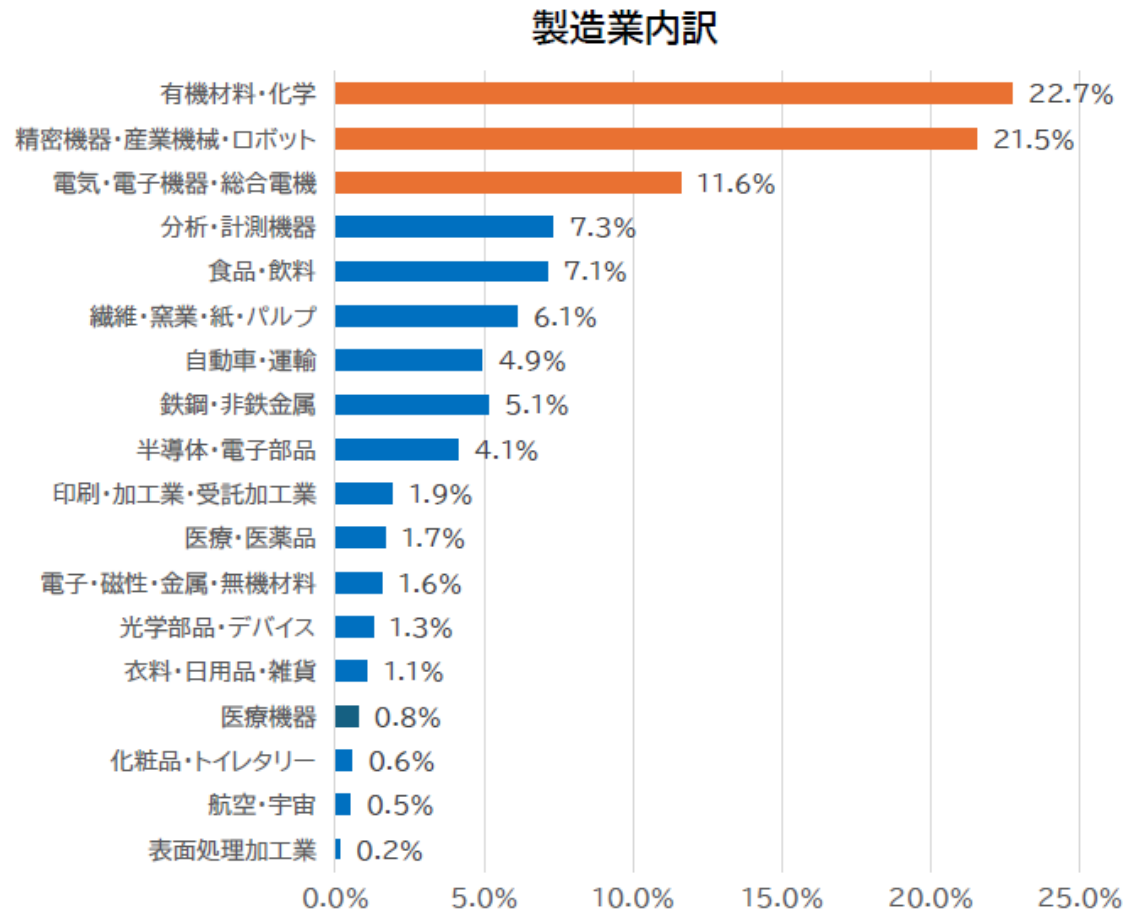
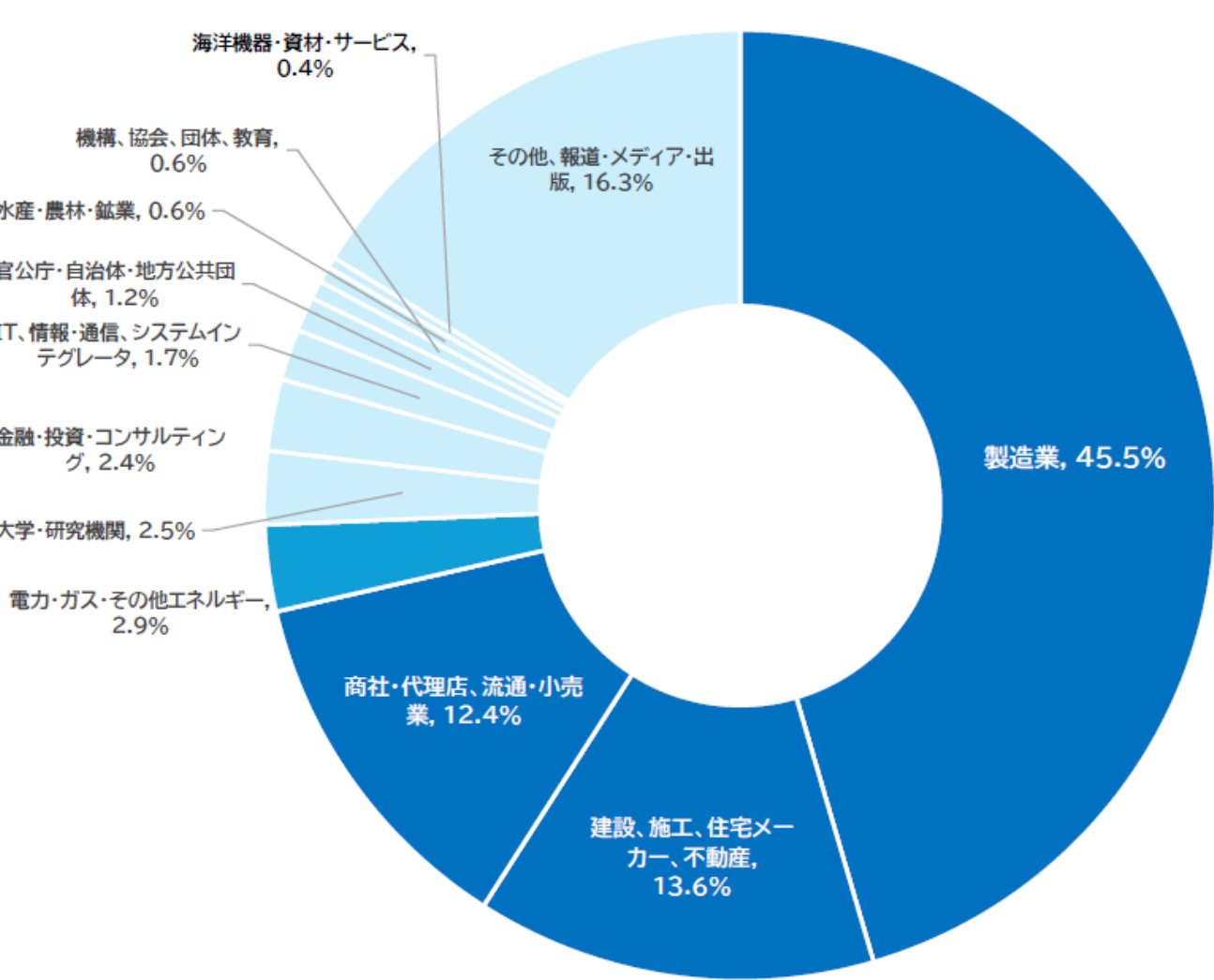
PFAS対策技術コンソーシアム / メトロームジャパン / 総合水研究所 /
ルミライト・ジャパン / 日吉 / 富士フイルム和光純薬 / 室町ケミカル / クレハ /
三重県環境保全事業団



10.本展の来場者傾向(業種)

来場者の**71.5%**が【**製造業**】【**建設・施工・住宅メーカー・不動産**】【**商社・代理店、流通・小売業**】の来場。

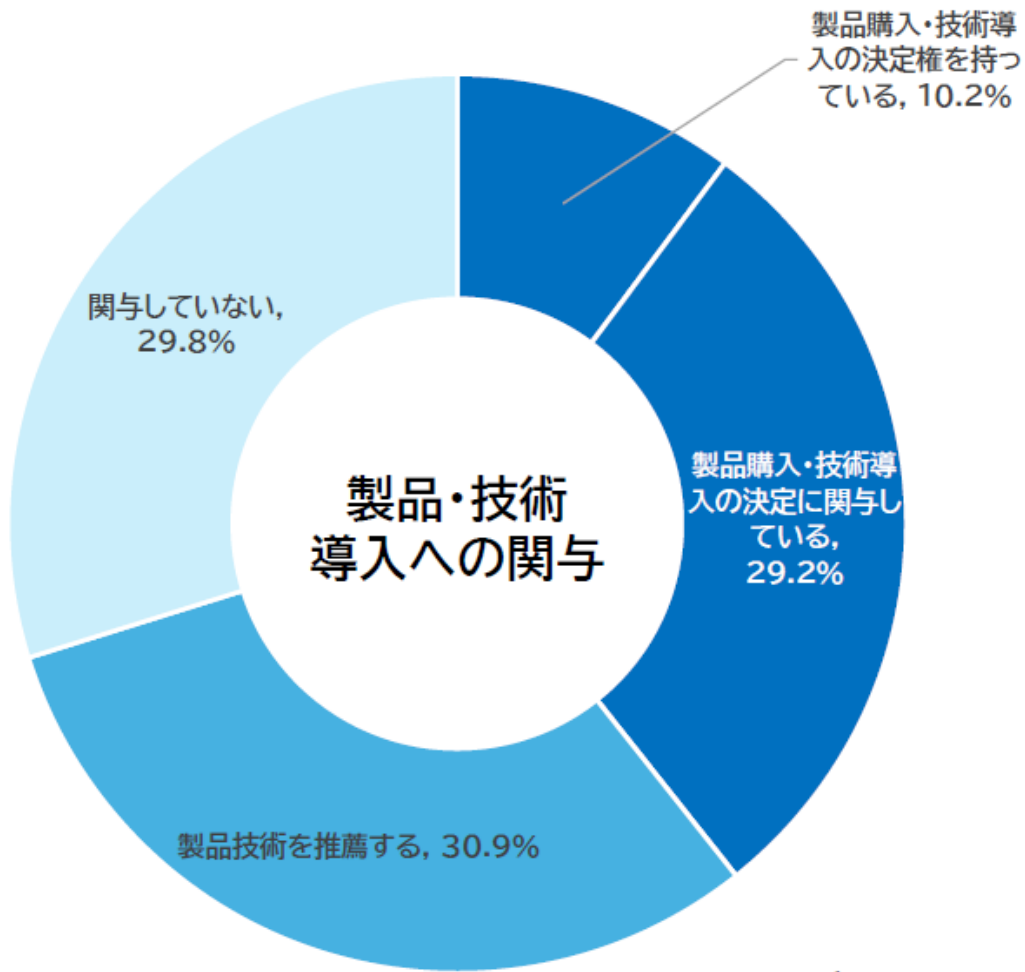
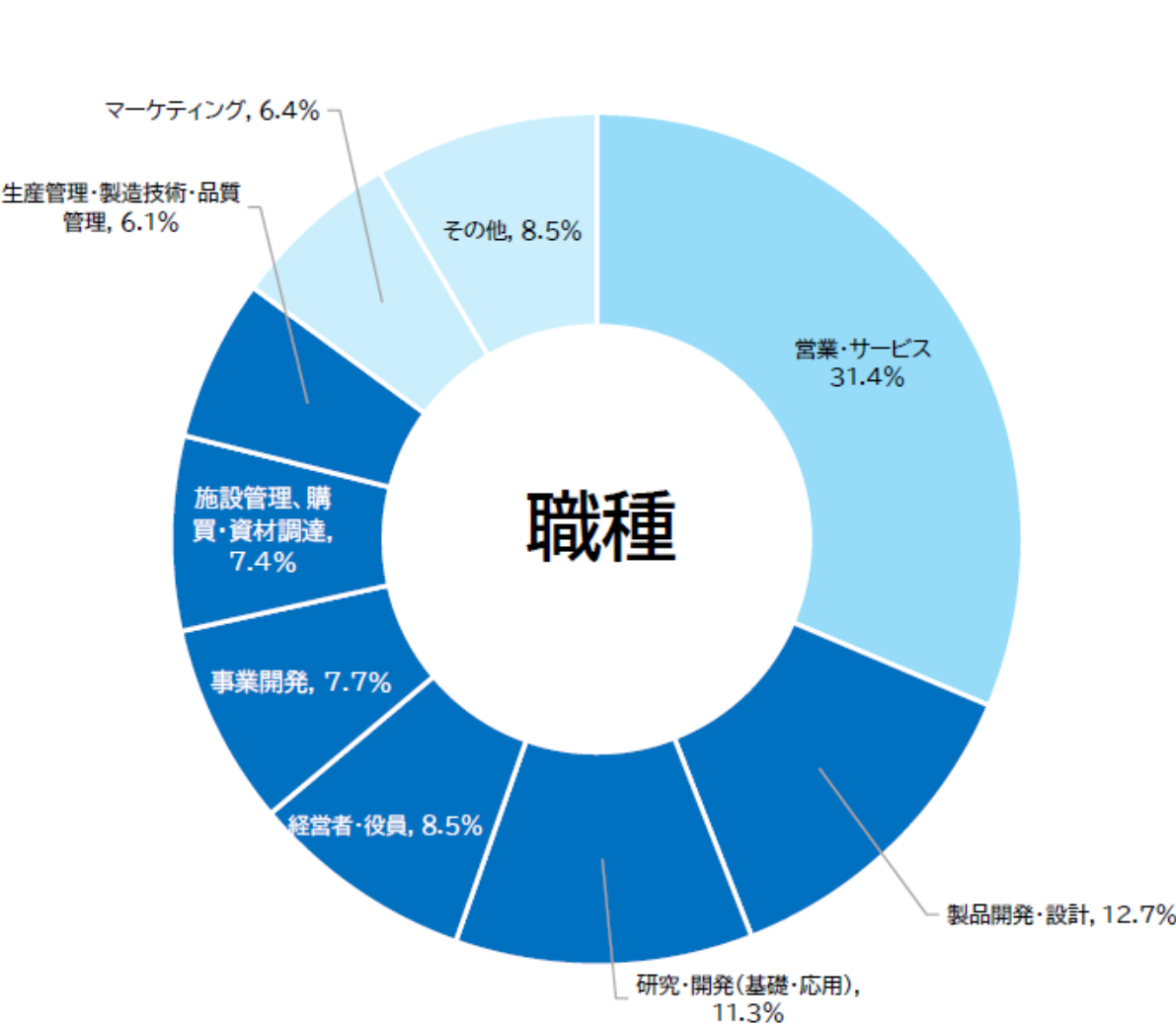
特に製造業の中でも【**有機材料・化学**】【**精密機器・産業機械・ロボット**】【**電気・電子機器・総合電機**】の来場業種の割合が高い結果となりました。



N=4363
InterAqua 来場登録アンケートより

11.本展の来場者傾向(職種・製品/技術導入への関与)

来場者の**53.7%**が【製品開発・設計】【基礎・応用研究】【経営者・役員】【事業開発】【施設管理、購買資材調達】【生産管理・製品技術・品質管理】の来場
また**70.3%**が、製品・技術導入の決定や推薦する、影響力のある方のご来場となり、会場内では活発に商談が行われました。



N=4363
InterAqua 来場登録アンケートより

12.広報活動

本展示会では、水ビジネスに関する企業・団体にご来場いただくために、様々な広報・来場誘致活動を行いました。

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

InterAqua O 2025

2025.1.29-31
Wed. 10:00 - Fri. 17:00

東京ビッグサイト 東2ホール

今回のInterAquaは「過去最大級」の規模で開催します!

〇 全日開催! 併催セミナー“Aqua Week”

- 人口減少時代を生かす一地域課題に水の観点から挑戦
【大阪大学、肥後の水とみどりの愛護基金、ウォーターポイント、NJS、日本水フォーラム、日本水道新聞社】
- 革新的海水淡水化への挑戦
～液体金属技術と小型分散型装置が拓く水資源の未来～
【東京工業大学、Waqwa】
- センシング技術-DXで繋ぐ持続可能な水質・リスク管理
【オプテックス、天地人】
- 浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略
【PFAS対策技術カンファレンス、環境エンジニアリング、中央大学】
- ロームが考える環境貢献と水資源の重要性
【ローム】
- 未来のくらしと水の科学展 公開シンポジウム
【東京大学、グローバルウォーター・ジャパン、鳥取大学、東レ、トヨタ自動車、東京理科大学、高砂熱学工業、法政大学】
- サステナブル社会を創る水資源価値とCSV経営の新たな挑戦
【東田工業】
- 工場排水セミナー
【Water Engineering Alliance、長瀬産業】
- 次世代につなぐ官民の取り組み
～新たな技術開発と食料・汚染処理の取り組み
【国土交通省、月島JFEアクアソリューション】

来場登録はこちら

来場登録(無料)受付中! ▶ インターアクア | 検索

※本展は来場登録制です

主催/お問い合わせ InterAqua事務局 株式会社JTBコミュニケーションデザイン E-mail: interaqua@jtbcom.co.jp / TEL: 03-5657-0757

いよいよ開催! 2025.1.29-31 東京ビッグサイト 東ホール

国際ナノテクノロジー総合展

nano tech

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

InterAqua O 2025

3D プリンティング & AM 技術の総合展

tct

詳細はこちら

いよいよ開催! 2025.1.29-31 東京ビッグサイト 東ホール

革新的な省エネルギー、脱炭素技術の総合展

ENEX 2025

第49回地球環境とエネルギーの調和展

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

InterAqua O 2025

詳細はこちら

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

InterAqua O 2025

2025.1.29-31 Wed. 10:00 - Fri. 17:00

東京ビッグサイト 東2ホール

今回のInterAquaは「過去最大級」の規模で開催します!

〇 全日開催! 併催セミナー“Aqua Week”

- 人口減少時代を生かす一地域課題に水の観点から挑戦
【大阪大学、肥後の水とみどりの愛護基金、ウォーターポイント、NJS、日本水フォーラム、日本水道新聞社】
- 革新的海水淡水化への挑戦
～液体金属技術と小型分散型装置が拓く水資源の未来～
【東京工業大学、Waqwa】
- センシング技術-DXで繋ぐ持続可能な水質・リスク管理
【オプテックス、天地人】
- 浄水・排水のPFAS規制動向と対応戦略
【PFAS対策技術カンファレンス、環境エンジニアリング、中央大学】
- ロームが考える環境貢献と水資源の重要性
【ローム】
- 未来のくらしと水の科学展 公開シンポジウム
【東京大学、グローバルウォーター・ジャパン、鳥取大学、東レ、トヨタ自動車、東京理科大学、高砂熱学工業、法政大学】
- サステナブル社会を創る水資源価値とCSV経営の新たな挑戦
【東田工業】
- 工場排水セミナー
【Water Engineering Alliance、長瀬産業】
- 次世代につなぐ官民の取り組み
～新たな技術開発と食料・汚染処理の取り組み
【国土交通省、月島JFEアクアソリューション】

来場登録はこちら

来場登録(無料)受付中! ▶ インターアクア | 検索

※本展は来場登録制です

主催/お問い合わせ InterAqua事務局 株式会社JTBコミュニケーションデザイン E-mail: interaqua@jtbcom.co.jp / TEL: 03-5657-0757

- 専門メディアへの各種広告・記事掲載
イプロス・ITmedia・環境新聞・水道新聞・
グローバルインフォメーションなど
- 主催者発行メールマガジン
- 同時開催展主催者発行メールマガジン
- プレスリリース配信(PRtimes)
- Google/Yahooリスティング広告
- 過去来場者への来場DM発送
- 後援団体を通じた開催告知 など

来場登録受付中!

持続可能な企業活動を支える水ビジネスの展示会

InterAqua O 2025

2025.1.29-31 Wed. 10:00 - Fri. 17:00

東京ビッグサイト 東2ホール

■ 展示会におけるサステナビリティの取り組み ①-1

本報告は、東京ビッグサイトで開催された本展示会におけるCO₂排出量を算定し、その環境負荷を可視化することを目的としています。展示会運営に伴うエネルギー使用、参加者の移動、廃棄物処理などの要素を考慮し算定を行いました。本結果を活用することで、今後の環境負荷低減策の検討や、持続可能な展示会運営の推進に寄与することを目指します。

本展示会の算定範囲

①企画	②制作		③運営(当日)			④来場者	⑤出展者	⑥廃棄
事務作業や事前 広報・告知業務	招待状や フロアマップ等 にかかる紙の 使用	施工資材や レンタル品 スタッフや施工員の移動	移動&輸送 ・運営スタッフ ・撤去スタッフ ・返却資材	食事 ・スタッフ用の弁当 ・レセプション パーティー	エネルギー 消費 ・電気 ・空調 ・水	・移動&宿泊 ・キッチンカー	・移動&宿泊 (海外含む)	・廃プラ ・紙くず など

【データ収集方法】

準備期間における各調達内容の調査 / 申込データからの出展者データの取得 / ・実来場集計データからの来場者データの取得 / 主要調達先、施工会社様へのヒアリング(レンタル品の単価や輸送データを取得) / 会期期間における現地での実査調査 / デスクトップリサーチによる重量等の推測(バッジやフロアマップは実物量を測定)

【使用した排出係数データベース】

環境省DBv3.3_5産連表DB / IDEAver3.3 / 運輸部門における二酸化炭素排出量【国土交通省】など

【算定の限界と対応策】 各項目でデータの不足を補いながら、可能な範囲で精緻な算定を実施した。

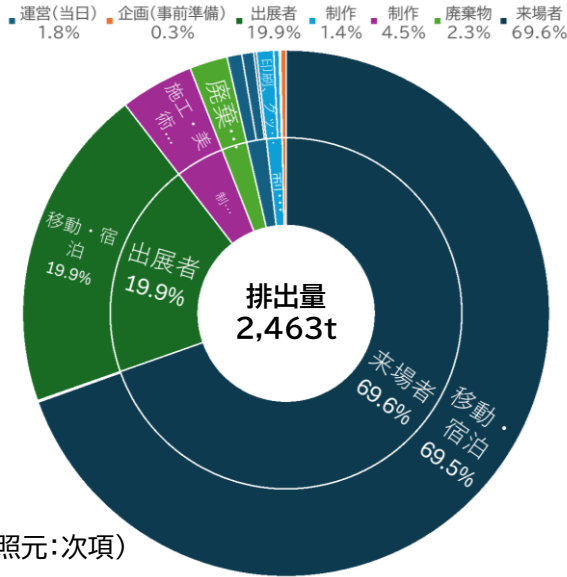
- 来場者の移動手段: 来場者の住所や最寄り駅データは取得不可
⇒ 都道府県単位のデータを基に「都道府県間流動表」を参考にし、移動手段を加重平均で按分し算定
⇒ 海外からの参加者はどこの国から参加したかを取得できていないため、出展者の参加国をもとにシナリオを置いて算定を行った
- 出展者の参加人数: 正確な従事人数の取得不可
⇒ 現地調査データを基に、1小間あたりの平均出展人数を推算
- 出展者の輸送: 自社ブースに配置する物品の量や輸送方法が推測困難のため、算定対象外となった
- 出展者の移動手段:
・国内(一都三県): 電車移動を前提に、会社住所から会場までの距離を基に算定
・国内(一都三県以外): 「都道府県間流動表」を参考にし、移動手段を加重平均で按分し算定
・国外: 海外オフィス→最寄り空港→成田・羽田→会場の移動距離を算出し算定
- 特装ブースのCO₂排出量: 標準ブースとは異なり特別な施工が施されているが、出展各社より施工情報を取得することが困難だった
⇒ 昭栄美術様から提供のCO₂排出データを活用し特装ブース全体の排出量を推算した。
- 食事(レセプション・キッチンカー)の算定: 委託会社からレシピや食材使用量の取得が困難
⇒ 事前入手のメニューからデスクトップリサーチ(クックパッド等)を基に基本レシピを設定し、現地調査を基に食材や提供料を修正した
- 施工に関わるレンタル品: レンタル品(消耗せず複数回利用するもの)の環境負荷を反映するため、カーボンフットプリント製品種別基準(CFP-PCR)に基づき、『イベントの算定』の附属書CのGHG排出シナリオを用いて算定した

■ 展示会におけるサステナビリティの取り組み ①-2

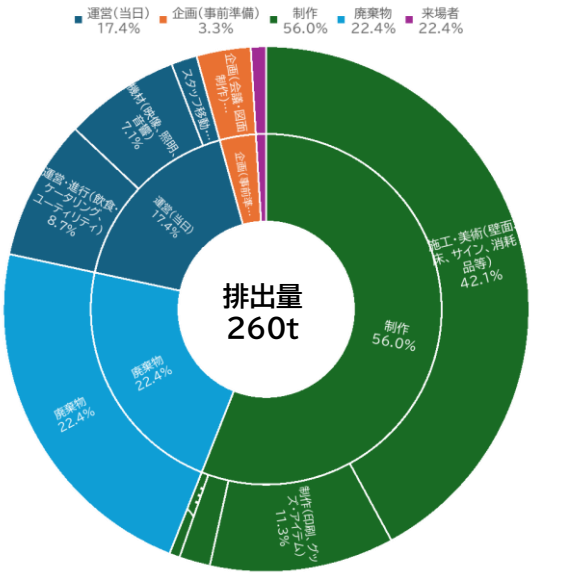
<算定結果>

分類	排出量 (t)
1,企画	8.6
2,制作	150.2
3,運営(当日)	44.6
4,来場者	1,714.7
5,出展者	491.0
6,廃棄	57.4
オフセット	-31.8t (77,900kwh)
合計	2,434.7 (来場者の移動・宿泊を除くと754.2t)

*CO₂ゼロMICE®を利用して排出されるCO₂を削減
使用する電気をCO₂が排出されない再生可能エネルギーに
置き換えることができるサービスを活用して展示会を運営した(参照元:次項)



来場者と出展者の移動・宿泊込み



来場者と出展者の移動・宿泊除く

<次回強化したい取り組みやアクションプラン>

- 1,サプライチェーン全体での環境配慮
環境に配慮した展示資材を利用、継続したバジッフォルダの継続的なリサイクル、会場内電気使用のオフセットなど『CO₂ゼロMICE®』運営を通じてCO₂排出削減を実現
- 2,来場者や出展者の利便性を保ちながら、環境負荷を抑えた印刷物の代替
ペーパーレス化を推進し、デジタルフロアマップや、すでに実施しているデジタル来場案内(招待状)の活用を強化することで、紙の製造や輸送、廃棄に伴うCO₂排出を削減
- 3,エコシステム強化:「移動」にかかるオフセットソリューション
既存の『CO₂ゼロMICE®』の概念を基に、国内外の移動に伴うCO₂排出をオフセットする『CO₂ゼロ出張』を提案。
関係者と連携しCO₂削減の取り組みを強化

■ 展示会におけるサステナビリティの取り組み ②

当社、JTBコミュニケーションデザインは、展示会主催・運営のプロフェッショナルとして、サステナブルな展示会の開催を推進しています。企画段階からサステナビリティ方針、調達コード、運用方法などを提案し、主催者企業・団体のサステナビリティ実現に向けた積極的な取り組みを支援しています。従来の業界のエコシステムにとどまらず、地域社会との連携を深めながら、持続可能な社会の実現を目指して活動してまいります。

CO₂ゼロMICE とは

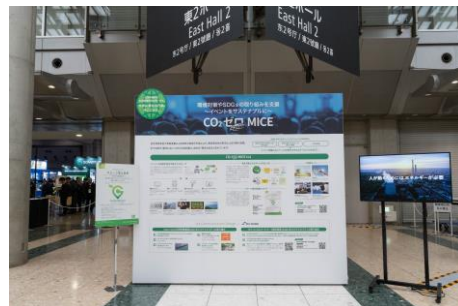
会場電力

イベントの電気もサステナブルに…
「CO₂ゼロMICE®」を導入

MICEを実施する際に、
その会場で使用する電気を
CO₂が排出されない再生可能エネルギーに
置き換えることができるサービス
詳しくはこちら>>>



「CO₂ゼロMICE®」 Powered by JTBコミュニケーションデザイン
本展示会は「グリーン電力証書」を利用し、
CO₂が排出されない再生可能エネルギーを使用して開催いたします。



CO₂ゼロMICE®の導入をはじめとした当社のサステナビリティ活動について、
共創パートナーである昭栄美術様にご紹介いただきました。

環境対策やSDGsの取り組みを支援
～イベントをサステナブルに～
CO₂ゼロMICE

SDGs13(気候変動)への取り組み
再生可能エネルギーの導入
CSR活動

イベント開催において、これを推進できるのが「CO₂ゼロMICE®」

CO₂ゼロMICEとは
イベントや会議を再生可能エネルギーで
実施することで、CO₂の排出量を削減し、環境負荷を低減させることができます。

特徴
① 再生可能エネルギー
② グリーン電力証書
③ CO₂削減効果
④ 透明性の高い仕組み

メリット
① 環境負荷の低減
② 企業の社会的責任の履行
③ 参加者の意識向上
④ 企業のイメージ向上

再生可能エネルギーにするしくみ

再生可能エネルギーの発電・送電・消費のサイクル

グリーン電力証書について

グリーン電力証書の発行・取引の仕組み

ご利用シーン

① 企業のCSR活動
② 企業の環境対策
③ 企業の社会的責任の履行
④ 企業のイメージ向上

Green Power Certificate
グリーン電力証書
CO₂ゼロMICE® JTBコミュニケーションデザイン
2025年1月開催展示会
株式会社JTBコミュニケーションデザイン 様
会場：東京ビッグサイト

シリアルナンバー: 00P011-1903-1911-00050638A09-00136537A09
Serial Number

Green Power
Jtb Communication Design

この証書は、下記の通り再生可能エネルギーによる発電が行われたことを証明します。
This certificate proves the following amount of power was generated from a renewable energy source.

グリーン電力証書: 77,000kWh
Amount of Green Energy: 77,000kWh
発電事業者: 昭栄美術 株式会社 第二京浜川崎火力発電所
Type of Power Proc. Seller: Showei Gakkaisha Co., Ltd. (Showei Power Plant, Sagami River, Sagami City, Kanagawa Prefecture)

発電期間: 2024年3月1日～2024年11月30日
Power Generation Period: From March 2024 to November 2024

証書発行事業者: 株式会社JTBコミュニケーションデザイン
Certificate Issuer: JTB Communication Design, Inc.

認証機関: 一般財団法人日本品質保証機構
Certification Organization: Japan Quality Assurance Organization

発行日: 2024年1月29日
有効期限: 2024年1月29日～2024年11月30日

Jtb Communication Design
昭栄美術 株式会社

2026開催のご案内

会期:2026年1月28日(水)~30日(金)10:00~17:00

会場:東京ビッグサイト 西・南ホール全館

*全13展示会を同時開催。InterAquaの開催ホールは決定次第、公式ウェブサイトでお知らせいたします。

構成展示会

InterAqua 2026

持続可能な企業活動を
支える水ビジネスの展示会

ENEX 2026
第50回地球環境とエネルギーの調和展

革新的な省エネルギー、
脱炭素技術の総合展

RENEWABLE ENERGY 2026
第20回再生可能エネルギー世界展示会&フォーラム

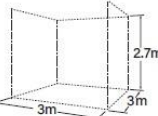
持続可能な社会を目指す
再生可能エネルギー展

Offshore Tech
Japan 海洋産業技術展 2026

海洋資源の利活用に
関する海洋産業技術展

● 出展料

一般	¥418,000(税込)/380,000(税別)
独法・公的機関・協会・団体	¥319,000(税込)/290,000(税別)
大学	¥209,000(税込)/190,000(税別)



出展料には以下が含まれています。
・出展スペース1小間＝
9m(開口3m×奥行3m)
※隣接する小間がある場合は、事務局側で仕切りパネル(高さ2.7m)を設置します。但し、角小間の場合、通路側のパネルはつきません。
※装飾・電気・通信回線等の工事費
および使用料は付帯しておりません。
・製品情報(資料・画像・動画)掲載
・上記に掲載した資料・動画の閲覧者データの取得
・来場案内(招待状)

● 参考価格



展示台	W990×D700×H750	2台
受付カウンター	W900×D450×H930	1台
パラペット	H300	1式
社名板・ゴシック系打ち文字	W1200×H200	1枚
パイプイス		2脚
カタログスタンド	(6段)	1台
貴名受		1ヶ
スポットライト	100W	3灯
床面カーペット	カーペット留込み	9㎡
幹線工事	電気使用料込み*	1kW
コンセント	2口(700Wまで)	1ヶ
ゴミ箱		1ヶ

*照明の消費電力量(300W)も含む

1小間
パッケージプラン ¥143,000(税込)~

*2小間・3小間用アップグレードプランもございます。
※申込先は、主催者指定施工会社となります。

申込方法・スケジュール

InterAqua公式ウェブサイトの出展申込フォームよりオンラインにて受付いたします。
主催者が出展申込を受領した時点をもって、出展の契約が成立となります。
仮申込をした場合、2025年8月1日以降本申込への自動切換えとなります。

- 1 申込締切日: 2025年9月30日(火)
※但し、締切前でも予定の小間数になり次第締切しますので、お早めにお申込みください。
- 2 出展料のお支払い: 出展本申込後、請求書を発行いたします。
請求書記載の指定日までにご出展料を指定口座へお振込みください。
- 3 出展申込の取消: 出展本申込後の取消は原則として出来ません。但し、事務局でやむを得ないと判断した場合は取消を認め、出展規約の基準で解約料を申し受けます。



●InterAqua事務局
株式会社JTBコミュニケーションデザイン
TEL: 03-5657-0757 Email: interaqua@jtbcom.co.jp
〒105-8335 東京都港区芝3-23-1 セレスティン芝三井ビルディング